

令和6年度 広域産業振興局事業計画

※一部、令和6年8月末時点で確定した内容の更新を含む

関西広域連合 広域産業振興局

広域産業振興局事業計画について

広域産業振興局事業計画の位置づけ

- ▶ 「関西広域産業ビジョン」の個別計画として、年度ごとの具体的な取組を示す。

産業振興に関する2040年度のめざす将来像を共有し、その実現に向けた方向性を示す

関西広域産業ビジョン

毎年度策定

「関西広域産業ビジョン」に基づき、毎年度の広域連合の
取組を示す

広域産業振興局事業計画

【関西広域産業ビジョン】

アクションプラン

補完的に策定

2025年大阪・関西万博前後3年間で、関西が強みを持つなど、特に取組を進めていく分野について、広域連合及び構成府県市の取組を示す

関西がめざす将来像

世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西

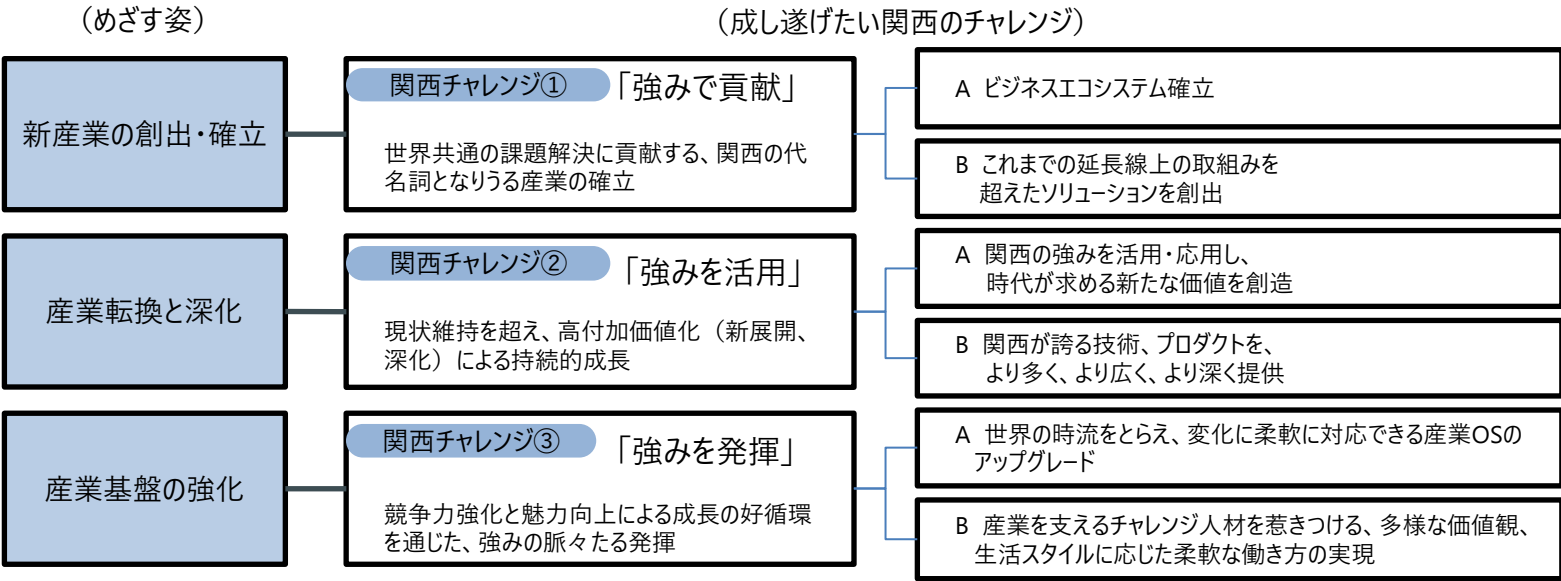
国内外から「人・モノ・投資・情報」が集まり、イノベーションが生まれる地域

産業を支える多様な人材が活躍する関西

ライフスタイルに応じた働き方ができる環境で、多様な人材が活躍できる地域

【目標】 2040年度の関西（広域経済圏）の
▶経済・産業の国内シェア25% ▶ GRP額約150兆円

将来像の実現・目標の達成に向けたアプローチ（基本的な方向性）



関西広域連合は、固有の4つのバリュー（存在価値）を発揮し、関西産業の成長に資する取組みを実施する

- シナジー（協働、相乗、相互補完）
構成府県市のそれぞれの強み・得意分野などを、関西広域連合域内で掛け合わせることで、単独実施以上の効果を生み出す
- スケールメリット（規模の経済、域内最適化）
構成府県（市）が同じ目的をめざす取組みを、関西広域連合が集約し一元的に実施することで効率・効果を高める
- スピルオーバー（波及、浸透）
構成府県市の独自の取組みを、関西広域連合域内で共有し、共感をひろげ、取組みを水平展開することで広い効果をめざす
- ダイバーシティ（多様性、地域特性）
構成府県市の個性、特性を、関西広域連合として重ね合わせることで、その良さを際立たせ、また個性の集合体としての多彩な魅力を発信する

Contents

- 01 令和 6 年度 事業一覧【予算事業】
- 02 令和 6 年度 事業一覧【協調事業】
- 03 関西スタートアップ・エコシステムの推進
- 04 ライフサイエンス分野におけるイノベーション創出
- 05 グリーン分野におけるイノベーション創出
- 06 新たな分野でのイノベーションの創出に向けた環境整備
- 07 地域魅力の発信
- 08 広報活動やセミナー等による情報発信
- 09 万博に向けた関西の魅力発信
- 10 広域産業振興の取組にかかる評価・検証

令和6年度事業一覧【予算事業】

令和6年度予算額：60,357千円

分野	項目	事業名	事業概要	予算額 (千円)	関西 チャレンジ	頁
スタートアップ	関西スタートアップ・エコシステムの推進	関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業	関西スタートアップの認知度向上のため、域内スタートアップの情報収集やD Bへの登録及びピッチイベント等を開催する	14,043	①	6
ライフサイエンス・ヘルスケア	ライフサイエンス分野におけるイノベーション創出	ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化	関西の認知度等の向上を図り、域内への投資、企業立地の促進につなげるため、BioJapanに参加し、スタートアップ企業や大学、研究機関と国内外の関連企業等とのマッチング機会を創出する	2,866	①	7
グリーン	グリーン分野におけるイノベーション創出	「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の実施	グリーン分野において、シーズの事業化を促進するため、カーボンニュートラルに関するフォーラムを開催する	1,781	①	8
中小企業の成長支援	新たな分野でのイノベーションの創出に向けた環境整備	関西広域産業共創プラットフォーム事業の推進	域内の公設試をはじめ、産業支援機関等と連携して広域的プラットフォームを構築し、企業の事業化を支援する	23,134	②	9
	地域魅力の発信	ものづくりをはじめとする地域魅力の発信	域内ものづくり企業の製品等の魅力を発信するため、国内外においてプロモーション活動を行う	7,332		10
	広報活動やセミナー等による情報発信	ビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」の発行等による情報発信	域内企業の人材育成等に資するため、企業の取組など参考となるニュースや好事例を収集した情報紙を発行する	2,632		11
	広報活動やセミナー等による情報発信	各種セミナーの開催	域内中小企業が直面する課題をふまえ、事業経営に役立つセミナーを開催する	1,102		11
	万博に向けた関西の魅力発信	万博関連事業	広域観光・文化・スポーツ振興局が行う「大阪・関西万博に向けた文化発信イベント」において、展示会等を開催する	5,756		12
産業基盤強化支援	広報活動やセミナー等による情報発信	各種セミナーの開催（再掲）	域内中小企業が直面する課題をふまえ、事業経営に役立つセミナーを開催する	(1,102)	③	11
		広報活動の実施	関西広域連合及び構成府県市の取組等を域内外に発信する	1,051		11
産業人材の確保・育成、多様な人材の活躍支援	広報活動やセミナー等による情報発信	各種セミナーの開催（再掲）	域内中小企業が直面する課題をふまえ、事業経営に役立つセミナーを開催する	(1,102)	③	11
	万博に向けた関西の魅力発信	万博関連事業（再掲）	広域観光・文化・スポーツ振興局が行う「大阪・関西万博に向けた文化発信イベント」において、展示会等を開催する	(5,756)		12
－	広域産業振興の取組にかかる評価・検証	「関西広域産業ビジョン」推進会議の運営	ビジョンに掲げる関西チャレンジ等に基づく具体的な取組の検証、評価に対する助言等を受けるため、有識者会議を開催する	250	－	13
－	管理費			410	－	－

60,357

令和6年度事業一覧【協調事業】～構成府県市等と連携した取組～

分野	事業名	事業概要	関西 チャレンジ
スタートアップ	京都スマートシティエキスポ2024	スマートシティに関する、国内外の企業やオピニオンリーダーによる講演・展示会、スタートアップによる展示会、全国自治体交流シンポジウムなどのプログラムを通じて、最新情報の発信・収集、産学官を越えたアライアンス創出の機会を提供し、スマートシティの実現をめざす	①
ライフサイエンス・ヘルスケア	欧州ライフサイエンス企業とのパートナーリングカンファレンス	欧州企業との面談機会の提供を通じ、域内企業の海外事業展開や共同研究等を支援する	①
	Osaka Biotech & Pharma Networking Event	オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、スイス、英国等の企業との面談機会の提供を通じ、域内企業の海外事業展開や共同研究等を支援する	
	PMDA 関西支部の活用促進	薬品・医療機器・再生医療等製品の相談事業等を実施するPMDA関西支部の事業等の周知・広報を行い、域内企業の活用促進を図る	
	「食・ヘルスケア」イノベーション創出事業	フードテックを中心とした、オープンイノベーションによる企業間の協議やスタートアップの創出などを促進する	
グリーン	カーボンニュートラル技術実装推進事業	大阪府が設置している専門人材を活用したカーボンニュートラル関連の相談窓口について、周知・広報を行い、域内企業の活用促進を図る	①
中小企業の成長支援	海外ビジネスサポートデスクの共同利用	域内企業の海外展開を支援するため、構成府県市が設置している海外の企業支援拠点（ビジネスサポートデスク）を共同で利用する	②
	地域産業技術セミナー	地域企業を対象に、徳島県立工業技術センターや産業技術総合研究所、大学等の最新の研究成果を発表する	
	国際フロンティア産業メッセ2024	企業や大学・研究機関による先端技術の紹介や新事業創出の基盤となる製品展示を中心に、基調講演、特別講演、各種セミナーや交流会など多彩なプログラムを展開し、技術交流・ビジネスマッチングを進める機会を提供する	
	海外トッププロモーション事業	大阪府が実施するトッププロモーション事業において、関西広域連合のチラシを配布するなどのPRを実施する	
	万博に向けた大阪・関西のビジネスプロモーション	大阪府が実施する万博関連イベントにおいて、関西広域連合のチラシを配布するなどのPRを実施する	
産業基盤強化支援	大阪府DX推進パートナーズ	大阪府DX推進パートナーズの相談対応及びパートナーズ参画企業とのマッチング支援について、域内企業に対象を拡大する	③
	DX関連セミナー	域内企業を対象にDX関連セミナーを実施する	
	企業の成長支援機関の活用促進	知的財産の情報提供等を行っているINPIT-KANSAIや、航空機産業の非破壊検査員の養成等を行っている航空産業非破壊検査トレーニングセンターなど、国等が設置する相談・支援機関が行う取組について周知・広報を行い、その活用促進を図る	
	産学連携促進事業	大阪産業局が大学等と連携して実施するセミナー等の産学連携事業について周知・広報を行い、域内企業の活用促進を図る	

事業名：関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業（14,043千円）

事業開始年度：令和3年度（4年目）

関西チャレンジ：①「強みで貢献」 分野：スタートアップ

事業の内容

事業目的

関西スタートアップ・エコシステムの魅力・ポテンシャル・将来性を国内外へ発信し、他エリアと差別化し、国内外の様々なリソース（スタートアップ、企業、人材、投資家、ベンチャーキャピタル等）の集積を可能とする日本有数の研究開発型スタートアップの地「ディープテックバレー“KANSAI”」をブランドとして確立し、関西経済の活性化、持続的な経済成長をめざす。

事業概要

- （１）域内スタートアップの情報収集・国内有力スタートアップDBへの登録
- （２）国内カンファレンスやピッチイベント等での情報発信
（３回程度／年）
- （３）Crunchbase等の海外メディアへの情報発信
（２回程度／年）
- （４）海外有力スタートアップDBへの登録
- （５）関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベントの開催
（１回／年）
- （６）関西スタートアップ・エコシステムポータルサイトの運営 等
- （７）情報発信戦略（2021-2024）の取り組みの検証と提言

事業のねらい・取組のポイント

- ・ 域内スタートアップ、大学、研究機関の魅力を国内外に周知し、関西スタートアップ・エコシステムを知る機会を提供し、域外企業、投資家等を関西へ呼び込む
- ・ 情報発信の主なターゲット：
国内外のスタートアップ、企業、専門人材、投資家、VC・CVC、首都圏企業、大企業
- ・ 情報発信戦略で定めた４か年計画の効果検証を行い、次年度以降の取り組みについて、提案や提言もふまえて検討する

成果目標

スタートアップ英語情報の登録（Crunchbase等への登録）：220社

事業名：ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化（2,866千円） 事業開始年度：平成25年度（12年目）

関西チャレンジ：①「強みで貢献」 分野：ライフサイエンス・ヘルスケア

事業の内容

事業目的

ライフサイエンス分野におけるイノベーション創出に向けて、海外に訴求力のある大規模展示会やビジネスマッチングイベント等への参加により、関西のライフサイエンス分野の強み・ポテンシャルを広く発信する。

また、国内外における関西の認知度・存在感の向上を図ることにより、域内への投資、企業立地の促進につなげ、域内関連産業の振興を図る。

事業概要

BioJapanへの参加

海外展開や共同研究などに繋がるマッチング支援やセミナー、ブース出展を通じて、関西の強み・ポテンシャルを広く発信する。

開催時期：令和6年10月9日（水）～11日（金）

開催場所：パシフィコ横浜（横浜市西区）

事業のねらい・取組のポイント

- ・ 効果的な情報発信のために、国内でも屈指の規模で開催される「BioJapan」の場を活用する
- ・ より多くの来場者にPRするため、これまでの取組に加えて、広域連合ブースを出展する（これまでは、マッチング支援とセミナーを実施）
- ・ 情報発信のターゲット：国内外ライフサイエンス関係企業・団体

成果目標

- ・ BioJapan期間中、関西広域連合ブースに誘引するため関西広域連合のパンフレットを手交：300部以上
- ・ BioJapanマッチング件数：参加企業数×6倍以上

事業名：「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の実施（1,781千円） 事業開始年度：平成25年度（12年目）

関西チャレンジ：①「強みで貢献」 分野：グリーン

事業の内容

事業目的

関西が高い産業ポテンシャルを有するグリーン分野において、域内を中心とした大学・研究機関等の研究成果を域内の企業に広く発信し、シーズの事業化を促進する。

事業概要

カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラムの開催

市場拡大や関連ビジネスの創出が期待される「水素・燃料電池、蓄電池等のカーボンニュートラルに資する技術」をテーマにフォーラム開催。

大学等の研究機関が実用化をめざす最新の研究成果の紹介や、研究機関等との意見交換の場となる交流会の開催を通じて、大学、研究機関等と参加者とのマッチングをめざす。

開催時期：令和6年12月9日（月）

開催場所：大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー

テーマ：水素・燃料電池、蓄電池等のカーボンニュートラルに資する技術

内容：特別講演/研究成果発表/ポスターセッション/交流会

事業のねらい・取組のポイント

- ・ 参加企業にシーズをより理解しやすく、また、興味を持ってもらうため、発表において「研究の社会的背景」や「実用化のイメージ」を盛り込む
- ・ 多くの企業に参加いただくため、リアルとオンラインで開催する
- ・ 広域環境保全局が実施する「脱炭素フォーラム」と連携し、一体的なPRを行う
- ・ マッチング先のターゲット：
カーボンニュートラル関連市場への新規参入を検討している企業、自社技術の新たな展開を図りたい企業

成果目標

- ・ 参加者数：210人以上
- ・ 参加者アンケートで「今後の事業活動に有益な情報を得ることができた」と回答した割合：70%以上

事業名：関西広域産業共創プラットフォーム事業の推進（23,134千円） 事業開始年度：令和4年度（3年目）

関西チャレンジ：②「強みを活用」 分野：中小企業の成長支援

事業の内容

事業目的

イノベーションが生まれる環境の創出を図るため、公設試や大学、産業支援機関、金融機関など様々な機関が連携し、入り口（研究シーズ、市場ニーズ）から出口（事業化）までシームレスに企業を支援する広域的なプラットフォーム「関西広域産業共創プラットフォーム」を構築する。

事業概要

（１）企業ニーズに応える事業化支援強化事業

- 企業からの相談に対応し、企業の事業化レベルに応じて支援
※「かんさいラボサーチ」のコンシェルジュ機能に加え、経営支援機関等と連携したトータルサポートを実施
- 産業技術支援フェア in KANSAI 2024
公設試・産総研のシーズ(研究成果)発表
開催時期：令和6年11月15日（金）

（２）事業化に向けた広域的プロジェクト組成事業

公設試・産総研・大学等のシーズ(研究成果)を発掘するとともに、企業の事業化ニーズの探索を広く行い、双方をマッチング

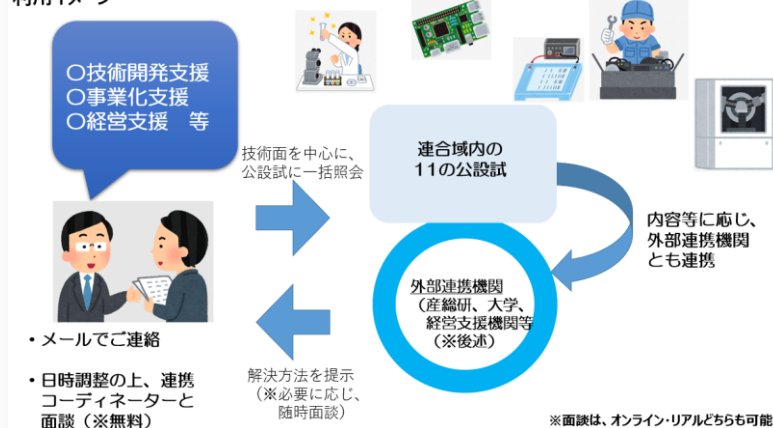
（３）公設試・連携機関との連携促進のための活動・PR等

事業のねらい・取組のポイント

（１）企業ニーズに応える事業化支援強化事業

域内公設試・連携機関のリソースを活用し、企業の技術開発や製品化等を促進する（主な支援ターゲット：域内の中小製造事業者）

利用イメージ



（２）事業化に向けた広域的プロジェクト組成事業

シーズ（研究成果）と企業ニーズのマッチング機会を提供するとともに、今後の事業化に向けた広域的プロジェクトを組成する

成果目標

- 公設試等のシーズと企業ニーズのマッチング（面談）数：30件以上
- 本プラットフォームを利用した企業の利用満足度：80%以上
- 「かんさいラボサーチ」アクセス件数：23,000件以上

事業名：ものづくりをはじめとする地域魅力の発信（7,332千円） 事業開始年度：平成29年度（8年目）

関西チャレンジ：②「強みを活用」 分野：中小企業の成長支援

事業の内容	事業のねらい・取組のポイント
事業目的 地域魅力の発信のため、デザインや実用性に優れた関西のものづくり製品などの産業資源をはじめとする関西の持つ魅力やポテンシャルを国内外に広く発信するプロモーション活動を展開する。 事業概要 （１）国内プロモーション 「KANSAI ものづくり フェア 2024」の開催 開催時期：令和 6 年 9 月21日～23日 開催場所：関西国際空港第 1 ターミナルビル 1 階 国際線・国内線到着フロア 内容：①地場産業・伝統工芸に係る情報紹介及び製品展示（12構成府県市＋石川県） ②ワークショップイベント（滋賀県・京都市・大阪府・兵庫県・和歌山県・石川県） （２）海外プロモーション 域内の企業や産業視察先等を取りまとめたPRツール（専用WEBサイト、デジタルパンフレット、紙媒体等）の作成	（１）国内プロモーション 関西のものづくり製品をより印象深くPRする手法としてワークショップをメインに実施する - プロモーションターゲット：外国人旅行者・国内旅行者 （２）海外プロモーション セミナー開催や各国領事館等を通じてツールを展開し、2025年大阪・関西万博を契機として来日する海外企業等を関西の各地域へ誘引する - プロモーションターゲット：2025年大阪・関西万博で来日する海外政府機関、海外企業
成果目標	
（１）ワークショップイベント参加者数：100 人以上 （２）海外向けウェブサイト閲覧数：2,000件以上 ⇒PRツールにおいてとりまとめる視察先件数：30件以上	

事業名：広報活動やセミナー等による情報発信（4,785千円） 事業開始年度：平成24年度（13年目）

関西チャレンジ：②「強みを活用」分野：中小企業の成長支援

③「強みを発揮」分野：産業基盤強化支援、産業人材の確保・育成、多様な人材の活躍支援

事業の内容

事業目的

関西広域連合域内の中堅・中小企業に有益な情報を提供するため、広域産業振興局や構成府県市の取組を域内外に向けて発信するとともに、情報紙の発行やセミナーを実施する。

事業概要

（１）広報活動の実施

広域産業振興局や構成府県市の施策、関西の産業情報等について、ホームページの更新やメールマガジン・SNSの配信、および広報紙等の作成により、域内外に向け、最新情報の提供を行う。

（２）ビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」の発行等による情報発信

域内企業にとって有益な情報を収集し、ビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」として発行する。

（３）各種セミナーの開催

域内中小企業が直面する課題をふまえ、事業経営に役立つセミナーを開催する。

事業のねらい・取組のポイント

（１）広報活動の実施

構成府県市や域内支援機関のセミナー情報等をまとめて発信する仕組みを検討する

- ・ 広報ターゲット：域内中小企業

（２）ビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」

紙の発行部数を減らし、電子に変更の上、メールやＨＰで発信するなど、多くの域内企業に届くよう見直す

- ・ 広報ターゲット：域内中小企業

（３）各種セミナーの開催

構成府県市のみならず、商工会等の支援機関や事業者の意見をふまえて、時宜を得たセミナーテーマを設定する

- ・ 支援ターゲット：域内中小企業

成果目標

- ・ 情報紙の読者満足度：75％以上
- ・ WEBセミナー視聴者数：200回以上
満足度：75％以上

事業名：万博関連事業（5,756千円） 事業開始年度：令和6年度（1年目）

関西チャレンジ：②「強みを活用」分野：中小企業の成長支援

③「強みを発揮」分野：産業人材の確保・育成、多様な人材の活躍支援

事業の内容

事業目的

関西のものづくり産業等の魅力向上のため、広域観光・文化・スポーツ振興局が行う「大阪・関西万博に向けた文化発信イベント」※において、展示会等を開催する。

※文化発信イベントは、大阪府内で開催予定

事業概要

（１）ものづくり作品展の開催

高校生が自身のデザイン・アイデアを製品化する体験を通じてものづくりへの関心を高めていただくとともに、域内のものづくり企業の技術力をPRするため、「ものづくり作品展」を開催する。

（２）日本酒関連事業者と公設試の連携促進

同イベントで企画する「SAKEサミット」会場内で、日本酒をテーマとした、公設試の取組等をPRするブースを出展。

（農林水産部と連携して実施）

とき 2月23日（日）

ところ 大阪南港ATCホール

※文化課主催の「KANSAI 感祭 in OSAKA」のプログラムの1つとして実施

事業のねらい・取組のポイント

（１）ものづくり作品展

学生にものづくりの楽しさを知る機会を提供し、興味を持ってもらうことで、ものづくり企業への関心を高める。

- ・ 支援ターゲット：域内の高校生、中小企業

（２）日本酒関連事業者と公設試の連携促進

「SAKEサミット」に出展・参加している酒造関係者と公設試との連携を促進する。

- ・ 支援ターゲット：日本酒関連事業者

成果目標

（１）ものづくり企業への興味・関心が高まったと回答した割合：75%以上
（展示会来場者や企業との連携に参加した学生向けアンケートを実施）

（２）・ブース来場者数：1,500名⇒500名

- ・ 公設試の取組について理解・関心が深まったと回答した割合：75%以上
（ブース来場者にアンケートを実施）

事業名：「関西広域産業ビジョン」推進会議の運営（250千円） 事業開始年度：平成24年度（13年目）

関西チャレンジ：－

事業の内容

事業目的

学識経験者、経済界、官公庁等の有識者から、ビジョンに掲げた戦略に基づく取組の評価・検証に対する助言を受けるとともに、ビジョンの推進に係る意見交換を行う

事業概要

(1) 審議事項（例）

- ・ 関西広域産業振興ビジョン
- ・ 前年度の事業評価
- ・ 次年度予算

(2) 委員（令和6年8月1日現在）

（学識経験者）	
甲南大学 名誉教授 大阪学院大学 商学部 准教授 大阪公立大学 現代システム科学研究所 教授	稲田 義久 氏 葛西 恵里子 氏 水野 真彦 氏
（経済団体）	
徳島県商工会議所連合会 専務理事 近畿府県商工会連合会連絡協議会 理事 公益社団法人関西経済連合会 常務理事・産業部長 鳥取県商工会議所連合会 幹事長 関西商工会議所連合会 事務局	上田 輝明 氏(徳島商工会議所 専務理事) 上村 一彦 氏(大阪府商工会連合会 会長) 久米 一郎 氏 中山 孝一 氏(鳥取商工会議所 専務理事) 丸山 新二 氏(大阪商工会議所 理事・総務企画部長)
（官公庁）	
近畿経済産業局 地域経済部 地域連携推進課長	黒木 啓良 氏

事業のねらい・取組のポイント

- ・ 令和6年度以降のビジョン推進会議の開催内容を変更する
変更内容
年2回（9月、3月）→年1回（9月末から10月上旬）

現行（～R5年度）

時期	内容	課題
3月末頃	・（N）年度事業の実績報告及び期末評価 ・（N＋1）年度事業の計画及び目標設定	・事業実績が未確定
9月末頃	・（N）年度事業の中間報告 ・（N＋1）年度事業及び予算（案）	（N-1）実績報告から期間が空く



変更後（R6年度～）

時期	内容	備考
10月上旬	・（N－1）年度事業の実績報告及び期末評価 ・（N）年度事業の中間報告 ・（N＋1）年度事業及び予算（案）	・全事業の前年度実績が確定 ・前年度実績・中間報告を踏まえて次年度事業を議論

成果目標

－